

令和6年度シラバス

教科	数学科		科目	数学 I	単位数	3
学年	1 年生	コース	共通			
使用教科書	新編 数学 I (数研出版)					
副教材等	教科書傍用 3 T R I A L 数学 I + A (数研出版) 教科書傍用 クリアー数学 I + A (数研出版)					

1 学習目標と評価の観点の趣旨

学習目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次の(1)～(3)のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>(2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の課程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>		
評価の観点の趣旨と定期考査の配点基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈し、表現・処理したりする技能が身に付いている。</p> <p>定期考査の配点基準 (目安) 60 %</p>	<p>数や式を多面的にみたり、目的に応じて適切に変形したりする力や図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力が身に付いている。また、事象を的確に表や式、グラフなどで表現し、社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力が身に付いている。</p> <p>定期考査の配点基準 (目安) 40 %</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしていたりしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善をしようとしている。</p>

2 学習計画と評価方法

学期	単元	主な学習活動	考査範囲
1 学期	数と式	<ul style="list-style-type: none"> 実数、簡単な無理数の四則演算 二次の乗法公式及び因数分解の公式 不等式の性質、一次不等式の解 式を多面的に捉えたり適切に変形したりする 一次不等式を解く方法を考察する 一次不等式を問題解決に活用する 	中間考査
	二次関数	<ul style="list-style-type: none"> 二次関数の値の変化、グラフの特徴 二次関数の最大値や最小値 	期末考査
2 学期	二次関数	<ul style="list-style-type: none"> 二次方程式の解と二次関数のグラフ、二次不等式の解と二次関数のグラフ 二次関数の式とグラフの関係を多面的に考察する 事象を数学的に捉え問題を解決する 	中間考査
	図形と計量	<ul style="list-style-type: none"> 鋭角の三角比と相互関係 鈍角の三角比 正弦定理、余弦定理 要素間の関係を定理や公式として導く 事象を数学的に捉え問題を解決する 	期末考査
3 学期	データの分析	<ul style="list-style-type: none"> 分散、標準偏差、散布図、相関係数 データを表やグラフに整理、基本的な統計量を求める 仮設検定の考え方 散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する データを収集、分析、特徴を表現する 主張の妥当性を判断し、批判的に考察する 	学年末考査
<p>各学期の観点別学習状況の評価の方法</p> <p>知識・技能＝定期考査及び授業内で行う小テストなど 思考・判断・表現＝定期考査及び授業内で行う小テスト、グループ活動 主体的に学習に取り組む態度＝提出物、レポート、発表など</p> <p>学年末の評価 各学期の成績から算出して観点別学習状況評価と評定を出します。</p>			